

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

代々木健康友の会

第47回定期総会



会場の参加者からはころぼん体操や東葛病院の建設など様々な発言がありました

会場には、東葛病院の建設など様々な発言がありました。日本共産党を躍進させていたいただきありがとうございました。みなさんと力を合せて、安倍政権の暴走許さず、憲法を守り、生かし、社会保障の充実に全力を



布施仁会長



井上均院長先生

10月27日(日曜日)、修養団SYDホールにて代々木健康友の会47回定期総会が10時から約140人の参加者で開きました。
布施仁会長からこの一年、地域の町会長や商店街との結びつきを強め、ころぼん体操や健康麻雀などのとりくみのなかで、地域の人たちとの絆を強めてきましたと挨拶。来賓を代表して、

「若い人たちが中心になって健康まつりをつくりあげてきました。民医連綱領は戦争反対を掲げ

健康で安心して住み続けられる街づくりを

10月27日(日曜日)、修養団SYDホールにて代々木健康友の会47回定期総会が10時から約140人の参加者で開きました。

ており、戦いの中心になるためにも仲間づくりを強め、世論を高めていきたい。地域医療を守り、中小病院を守る戦いを共に進めていきます。」と話されました。

東葛病院新建設についての構想を東葛病院副事務長の松原さんより説明がありました。

代々木病院の長谷川事務長は建設問題について、「勤労者医療会の大事業、100億円を超える建設になります。勤医会の医療センターとして安心して医療活動を進めるために、皆さんも協力をして代々木病院が果たす役割を職員が一丸となって担っていきま

げます」と語りました。

議事に入り、事務局長の活動報告、伊香副会長から13年度決算報告、14年度予算案が提案。活動報告は、パワーポイントを使い、映像を見ながら、議案の補足をさせていただきました。

その後質疑応答、討議に入り、ころぼん体操、健康麻雀に参加している会員さんから発言(12月号友の会ページを参照)、

東葛病院建設問題における友の会のとりくみ、年間10万人以上介護のための

「その後質疑応答、討議に入り、ころぼん体操、健康麻雀に参加している会員さんから発言(12月号友の会ページを参照)、



受付の様子。次々と訪れる参加者

きずなコンサート

~Music Ties You and Us~

日時：12月4日(水) 13時開場/13時30分開演

場所：自由学園明日館 講堂

曲目：「Jupiter」(平原綾香) 「一人じゃない」(平井堅) 「ヤングマン」(西条秀樹)

ゲスト出演：「松沢病院デイケア合唱グループ」他

問い合わせは精神科デイケア室 03-5411-9579

「被爆者の証言は貴重で、世界記憶遺産として人類の共有財産にする価値がある」被爆者であり医師として長年被爆医療に関わってきた肥田舜太郎先生は述べた。被爆体験を聴いていると共通して感じるものがある。被爆者の言葉は生々しく、魂がこもっている。「人の顔がこんなに腫れあがって、化け物のようだった」ある被爆者は両手で示しながら聴く者たちに訴えた。彼らの思いは理屈を超え聴く者たちの心を揺さぶる。体験した者たちの言葉に、面と向かって反論できる「人間」などいるのだろうか。人間としての生き方と死に方も許さない核兵器の「破壊力」を目の当たりにした者の存在と、被爆体験と惨状を表す資料が、人類史上3度目となる市民に対する核兵器の使用を食い止めているのではないだろうか。2010年、779。2012年に被爆者手帳を持っている人の数だ。最多であった1980年の372、264人をピークに減少している。平均年齢は77歳に達した。核兵器廃絶のため、世界中の人たちと、各国政府と連携しその脅威と非人道性を伝えていこう。もう待たないだ。 (た)

千駄の萱